

特別委員会報告

中山間地域等直接支払交付金の過払い調査

委員長 神志那 宗 作

過払いの原因はどこにある？

2月15日まで7回開催しました。

助役、担当部長・課長、緒方支所長、当時の担当者から経緯を聞きました。

過払いの額は、37集落で5年間に、延べ508万2,819㎡に対し、9,454万3,899円です。

原因は、計画策定当時、担当者が交付条件を解釈違いして、対象農用地でない農用地に交付したものの7,906万8,779円。傾斜区分判定ミスによるもの1,547万5,120円です。

この内、4分の3は、国・県補助金なので豊後大野市に返還義務があります。
(3月15日に、7,090万7,920円を返還)

市は、関係集落や農家に返納要請するにあたっては、諸法令をきちんと踏まえ、

過払いの原因が行政の側にあることを肝に銘じて、誠実に納得と合意による方法で行うよう申し添えます。
また、再発防止のため、職員研修を強化し、重要な計画策定は複数体制で行い、決裁は、厳格に行うべきであります。



田植えの準備(早期米の代掻き作業) 三重町菅生地区

議員報酬 5%を減額

行財政改革推進

委員長 浅野 益美

豊後大野市が誕生して1年が経過しました。

三位一体の改革のもと、地方分権が推進される中、本市の財政基盤は脆弱なために、厳しい財政運営を強いられています。

この難局を乗り切るため、本委員会としても、平成18年4月1日より3年間、議員報酬の5%減額を決定しました。

なお、削減効果として、3年間で、1,800万円程が見込まれます。

議員定数は、現状31人ですが、合併協議会では次の選挙から26人を条例定数と決定しています。

しかし、今後の人口動態を考慮して、定数減について検討を行い、平成20年6月までに結論を出すことにしました。